

地域支え合い実践研修

生活者目線の人材育成を考える ～被災者支援からの学びを平時に活かす～

Zoomオンライン開催

1. 開催日程

2021年2月26日（金） 13：00～15：30

2. 主 催 宮城県 / 宮城県サポートセンター支援事務所

3. 運 営 特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）

4. 受講対象

県・市町村職員、社会福祉協議会職員。

サポートセンター職員や生活支援相談員、仮設住宅連絡員、絆支援員、復興支援員などの被災者の生活支援に従事する職員、地域包括支援センター職員、民生・児童委員、仮設住宅（みなし仮設・広域避難者等含む）支援に従事する NPO スタッフ等も広く受け付けます。

5. 趣 旨

東日本大震災後 10 年を迎えるにあたり、各市町村ではこれまでの被災者支援の経験を生かし平時の支え合い体制、地域づくりへの移行を進めています。

一方で、人口減少や少子高齢化社会の中、社会的孤立や格差などさまざまな地域の課題も浮き彫りになっています。

この間、まちひとしごと創生法、医療介護総合確保推進法、生活困窮者自立支援法など、新たな制度も生まれましたが、次の 10 年に向けて、平時の仕組みも活用しながら具体的な事業化が出来ている市町村は少ない状況です。

本研修は、行政職員や社協職員を主な対象とし、事業化を促進するためのヒントを得られる機会とすることを目的としています。

6. 内 容

①講義：「被災者支援からの学びを平時に活かす」

講 師：本間 照雄（東北学院大学地域共生推進機構特任教授）

②事例報告：「各地の取り組みから学ぶ」

報告者：真壁 さおり（宮城県サポートセンター支援事務所）

③グループワーク：「仮想事業創出ワーク」こんな人材育成事業あったらいいな！

④質疑応答

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため、Zoomを使ったオンライン開催となります。

グループワークを行いますので、パソコンやタブレット端末からの参加を推奨いたします。